

## 地方債発行額と地方債依存度の推移(県内市町・決算統計ベース)

地方債発行額は平成9年度をピーク(853億円)に、普通建設事業の減少等を背景として平成12年度には536億円まで減少したが、平成13年度以降は臨時財政対策債の創設により増加に転じた。

平成16年度以降、三位一体改革に伴って地方債発行額、地方債依存度ともに低下傾向にあったが、平成22年度以降は、臨時財政対策債や平成23年度に創設された緊急防災・減災事業債の発行額増等により、両者は増加傾向となった。

令和元年度については、前年度に比べ大型の公共施設の整備等が集中したことに伴い、地方債発行額が増加し、地方債依存度も微増となった。

